

万葉集でつづる大津京物語

光うつろひ



二〇〇八年 音楽劇 大津京逍遙

野外劇 レクイエム大友皇子と壬申の乱

二〇一七年 音楽物語 夕波千鳥

そして二〇二〇年 大津京遷都一三五三年における 大津京物語 光うつろひで

光と影がおりなす万葉の世界へと誘います



令和2年 **3月28日(土)** **ピアザ淡海ピアザホール**

滋賀県大津市におの浜1-1-20 TEL.077-527-3315

16時30分開場 17時開演

入場料【一般】 前売り3,000円・当日3,500円

主催 / 「大津京への道」実行委員会

お申し込み・お問い合わせ先：「大津京への道」実行委員会事務局 TEL・FAX 077-546-7262 (飯森)

後援 / 滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会・近江神宮・びわ湖大津観光協会・琵琶湖汽船・NHK大津放送局

びわ湖放送・KBS京都・エフエム滋賀・びわ湖芸術文化財団・朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局・京都新聞・中日新聞・産経新聞

チケット取り扱い **びわこ大津観光協会**・「大津京への道」実行委員会・大津市民会館

《出演者》



舞・和太鼓
小島千絵子

佐渡を拠点に世界で活動している太鼓芸能集団「鼓童」の名誉団員。1976年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座。1981年「鼓童」創設メンバーで、太鼓中心の舞台の中で独自の舞踊の世界を切り拓いている。鼓童の舞台と同時に新たな出会いを求め、国内外のアーティストとの共同制作を繰り返している。歌舞伎女方坂東玉三郎主演、演出「アマテラス」では初代アメノウズメを演じ、鮮烈な印象を残した。平成24年度文化庁文化交流使として、ヨーロッパ4カ国を訪問、日本の太鼓や踊りを紹介し各地で交流を深めた。2018年 菅野夏子とユニット「佐渡が姉妹」をプロデュース。各地を訪ねる新しい旅が始まった。2019年12月 芸歴40周年記念 鼓童「千の舞」公演を文京シビックホール大ホールにて開催。



ソプラノ
浅井順子

関西二期会会員ソプラノ歌手。神戸女学院大学音楽部卒業及び研修生修了。大阪音楽大学にて合唱指揮を学び同大学専攻科修了。飯塚新人音楽コンクールにてグランプリ、青山音楽賞、京都芸術祭賞などの栄誉を受けている。京都市立堀川音楽高校などで後進の指導にあたる他、個人や合唱団でのヴォイストレーナーを務める。合唱団LABO・コールクラパー指揮者。



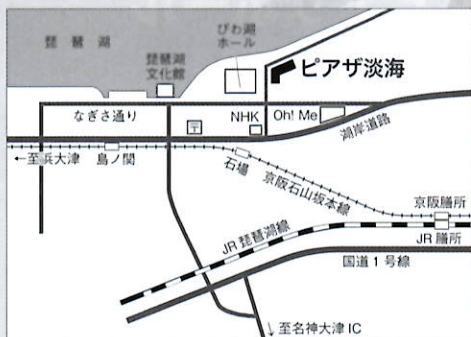
テノール
松岡重親

京都市立芸術大学大学院修士課程終了。「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランドでデビュー。これまでに40を超える役柄を演じる。九響、京響、アンサンブル金澤、大阪響他のオーケストラと「第九」「ヴェルディ/モーツァルトレクイエム」他で共演。2019年は、ヘンデル「メサイア」バハ「口短調ミサ」ビゼー「カルメン」の公演に出演。今月は「レ・ミゼラブル」に出演した。日壇文化協会より優秀賞、京都芸術祭より市長賞受賞。鈴木寛一、重松みかの各氏に師事。日演連会員。



語り
中山登志子

石山高校音楽科を経て相愛大学音楽学部フルート専攻卒業。演奏活動の他ナレーターとしても活動。2008年音楽劇「大津京道」で巫女役として語り好評を博し、同年「大友皇子と壬申の乱」'09年「レクイエム大津京物語」、'17年「夕波千鳥」等その後も巫女役を続ける。他にもナレーターとして室内楽や合唱団等と共演。又自作のCD付絵本「猫・ねこ・ネコ」を湖笛の会より発行。フルートオーケストラ湖笛の会代表、日本フルート協会代議員。



■アクセス/
・JR膳所駅から徒歩約12分・京阪電車石場駅から徒歩約5分
・名神大津インターから約7分 —— 地下駐車場77台(有料)



プロ和太鼓 Player
TAH(ター)

京都府出身。小学生の時、コンガ奏者の古谷哲也氏の打楽器に魅せられ、地元の和太鼓グループの指導者だった父親の元、演奏活動を始める。1994年、佐賀のプロ和太鼓集団「鼓童」に入座し、2000年までメンバーとして国内・海外公演・CD制作に参加。退団後は創作和太鼓アンサンブル「BURAI」を立ち上げ、ドラム、パーカッションなどを取り入れたユニークな演出で全国的に活動する。繊細さと大胆さを兼ねそなえ、力強さの中にも優しさのある音には定評がある。和太鼓の持つ音楽性と表現力の幅を追求する為、ダンス、演劇、声優、ものまね、落語など、ジャンルを問わず様々な公演に参加。自身の打法を「打心道」と称し、未来の和太鼓奏者の育成にも力を入れている。



箏
麻植美弥子

3歳より祖母大仲勝子の指導で箏を始める。吉崎克彦に師事。NHK邦楽オーディション合格。長谷検校記念全国邦楽コンクール優秀賞、平和堂財団芸術奨励賞、京都芸術祭音楽部門芸術祭賞ほか、受賞歴多数、国内外のアーティストとのセッション等多彩な演奏活動を、イタリア・フランス・中国・韓国をはじめ国際的に展開、現代曲作品の初演も多い。国立大学法人福井大学教育学部非常勤講師。ムジカA国際音楽協会常任理事。



打楽器
中路友恵

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、同志社女子大学学芸学部音楽学部打楽器専攻卒業。同大学特別専修課程修了。第3回KOBE国際音楽コンクールにて特別賞受賞。京都芸術祭にて第11回新人賞、第29回毎日新聞社賞を受賞。平成13年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。現在、マリンバ・打楽器奏者として関西を中心に幅広いジャンルで演奏活動を行う他、吹奏楽指導や打楽器を使った音楽ワークショップ、後進の指導にも力を入れている。滋賀県立石山高等学校音楽科、相愛大学音楽学部、各非常勤講師。



ピアノ・作曲
岩坂富美子

滋賀大学教育学部卒業。これまでに万葉集をテーマにした「戀の花語り」、金子みすゞの詩による連作、語りと音楽「鳥は靴を履かない」(武部治代の詩による)や音楽劇「ヤマトオロチ」作・作曲上演(湖信会主催神仏合同祈願祭)など作編曲・委嘱曲多数。CD「和を奏でる光」(ファウエム社)に作曲・演奏で参加。京都芸術祭毎日新聞社賞受賞。アカンサス音楽教育研究所滋賀支部長。ムジカA国際音楽協会会員。



ピアノ
岸本佳美

滋賀県立石山高校音楽科を経て、大阪音楽大学短期大学部ピアノ専攻卒業。ピアノを山下啓子、遠山つや、安田信子、伴奏法を塚田佳男の各氏に師事。合唱をはじめ、声楽・器楽の伴奏者として幅広く活動している。現在、女声合唱栗東カレンチュラ、栗東少女合唱団、フラワーコーラス、関西室内女声アンサンブル等のピアニスト。

《スタッフ》 脚本/中山登志子 音楽/岩坂富美子 美術/鈴木靖将
衣裳/飯森よしえ 照明/沢井敦治 音響/長谷川政行 舞台/浅川裕子
委員/中村彰彦・小林俊一・越 順子・西本育子

企画制作 「大津京への道」実行委員会